

特集 1 100%の安全・安心を追求します

日本の経済活動を支える高速道路。高速で走ることを可能にするため、より高いレベルでの道路保全とお客さまへのサービスが求められます。24時間365日、気象条件も変われば、交通事故も発生します。高速道路は日本の経済を支える大動脈として、その役割をしっかりと果たします。お客さまの期待が、高速道路を守るプロとしての私たちのやりがいです。



名神高速道路での集中工事

昼夜を問わない取り組みが円滑な交通を支えます

車線規制回数を削減する

名神高速道路のように特に交通量が多く、開通後45年を経過するような老朽化した道路では、年間を通じてさまざまな点検や舗装打ち換えなどの大規模な補修が必要となります。これらのメンテナンスには車線規制が伴い、一つの車線を規制するだけで渋滞を起してしまう可能性があることから、比較的交通量が少ない夜間を中心に“集中工事方式”で実施しています。

夜間の工事は、視界の悪い厳しい環境の中での作業となりますが、綿密な計画のもと、効率的に実施することで、渋滞回数をおおむね半減させています。

一方、片側1車線の暫定2車線区間においては、従来、片側交互規制を行い、トンネル内や排水施設の清掃、交通安全設備・路面舗装の補修、各種設備の点検を実施してきましたが、本線上での待ち時間が生じ、お客さまにご不便をおかけするとともに、追突などの危険もありました。このため、夜間通行止めをすることによって作業を集約し、片側交互規制回数を極力減らす努力を行っています。

今後も、日々の点検・作業を確実に行うとともに、工事の重点化・集約化によって、車線規制回数の削減を図り、円滑な交通を確保していきます。

24時間365日常に道路の安全を支えます

見落としは許されない点検・作業

お客さまにいつでも安全・快適に高速道路をご利用いただくには、日常の点検・作業が欠かせません。

日常の点検については、パトロールカーを巡回させ、道路施設に異常がないかを確認しており、路面の凹凸など問題が発生するおそれのある箇所を発見した場合には、停車して状況を把握し、迅速に必要な処置を施します。

また、交通管理隊は、故障停車車両の援助のほか、落下物など路上障害物の排除を行っており、その数は年間約13万件に及びます。

さらに、路面だけでなく、トンネル、橋梁といった道路構造物については、特殊な点検車両を使って、詳細な点検を行っています。そのほか、路面の清掃、照明灯具や標識の清掃、草刈や冬場の雪氷対策など、道路の安全を支える活動にはさまざまなものがあります。いずれも地道な作業ですが、一切妥協することなく日々全力で取り組むことで道路の安全を支えています。



ポットホール（路面の凹凸）の緊急措置



素早い動きが求められる路上障害物の排除作業



高所作業車上での橋梁たたき点検



測定車を用いたトンネル水噴霧設備の放水点検

Staff's Voice

路線の点検・調査を強化し、安全で安心な道路空間を継続して提供していきます

私の所属する事務所は、大阪南部と奈良県の高速道路、一般有料道路の道路保全と大和郡山ジャンクションの建設を担当しています。24時間365日重要路線の保全を担当していることから、不測の事態にも対応できるよう常に気を配っています。また、2009年に開通40周年を迎える西名阪自動車道など老朽化した路線については、点検・調査を強化し、適切な補修・改良を行うことで、安全で安心な道路空間を継続して提供することに努めていきます。



関西支社
南大阪高速道路事務所 副所長
細木 康夫

リアルタイムの情報が安全・快適を支えます

道路の異変をいち早く知らせる

「名神高速道路下り線448キロポストで事故発生！ 大型貨物とトレーラーの2台が接触し、トレーラーは横転、中央分離帯を破って反対車線にも積荷が散乱。交通管理隊は、直ちに現場に急行せよ！」——。道路管制センターから巡回中の交通パトロールカーに無線で指示が飛びます。現場に到着した交通管理隊員はすぐさま状況を確認し、緊急交通規制を行います。道路管制センターでは、高速道路上の事象を一元的に収集、情報板などでお客さまに的確な情報を提供するとともに警察など関係機関と連携し、現場の早期復旧と二次被害の未然防止に取り組んでいます。



本線情報板

道路管制センター

情報の高度化に向けて

交通事故以外にも、高速道路では渋滞や大雨、雪、霧といった気象など、走行に影響するさまざまな事象が発生します。

これらの情報を本線情報板などでリアルタイムに提供するのはもちろん、お出かけ前のお客さまにも知っていただくため、NEXCO中日本と共同で開設している「冬の高速道路雪道情報サービス(ユキイロ.com)」や、当社ホームページに「渋滞予測カレンダー」などの掲載を行っています。

今後も、携帯電話などのインターネット機能を利用した「通行止め作業状況」提供など、「100%の安全・安心の見える化」に向けた、情報提供の充実・高度化を進めていきます。



雪道の状況をお知らせする「ユキイロ.com」 <http://www.yuki-iro.com/>

ハイウェイ交通情報携帯サイト 2008年末を目途に運用を開始する予定(詳しくは当社ホームページをご覧ください)

- 1 高速マップで交通状況を確認!**
通行止め・渋滞などの最新交通情報をマップでひと目で確認できます(5分ごとに更新)。
- 2 文字情報でも確認!**
マップでは確認できない詳細な事柄は文字情報で確認できます。
- 3 通行止めの解除をお知らせ!**
気になる通行止めが解除された時にメールを受信できます。
- 4 通行止め解除の目安を確認!**
通行止めの解除に向けた作業状況を確認できます。(NEXCO西日本エリア限定)
- 5 200km圏内の交通状況を確認!**
携帯電話の位置情報により、200km圏内の高速道路の交通状況を確認できます。
- 6 マイルート機能!**
通勤ルートなど、頻繁に利用するルートを登録しておけば、お望みの時間に通行止めが発生した時にメールを受信できます。



予防保全の取り組みが安全を支えます

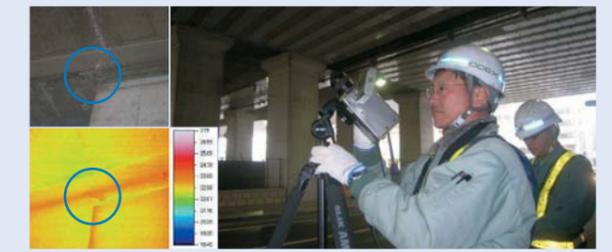
道路の老朽化から安全を守る

NEXCO西日本が管理している高速道路は、平均で開通後21年、そのうち約22%が開通から30年を越えています。道路の老朽化に伴い、近年、橋梁やトンネルからコンクリート片が落下するなどの突発事象が発生しています。

このような事象から安全を守る取り組みとして、最新の点検技術を活用した、問題箇所の確実な抽出、コンクリートはく落防止シートやネットの設置などの予防保全対策に力を入れています。特に、鉄道や主要道路が下を通過する橋梁で損傷程度の高い箇所については、2008年度末までにこれらの対策を概成させる予定です。



はく落防止ネット



赤外線カメラを利用した構造物の点検

ライフサイクルコストの最小化に向けて

NEXCO西日本管内では、車両の大型化や経年変化による橋梁の老朽化対策として、橋梁床版の増し厚や部分打替えなどの対応を計画的に行って来ていますが、ライフサイクルコストの最小化を目指して、より高品質かつ高耐久な材料であるプレキャストコンクリート床版を用いた橋梁床版の全面補修事業を2008年度から試行しています。今後この補修対策の効果検証を行うとともに、新工法・新技術の積極的な採用によりさらなるライフサイクルコストの最小化に向けた取り組みを進めていきます。



プレキャスト床版を用いた橋梁床版補修事業

Staff's Voice

地道な取り組みを継続することでお客さまにとって快適な道路環境づくりに努めます

メンテナンス中国(株)は、主に中国地域における高速道路の維持管理業務を行っています。道路の維持管理では、路肩の草刈りや、路面の清掃、設備の補修などを実施するとともに、サービスエリア・パーキングエリアでは、定期的なトイレ清掃はもちろん、生花などの飾りつけを行い、お客さまに快適に過ごしていただけるように努力を重ねています。

今後も、NEXCO西日本グループとしてより良い協働体制を維持し、お客さまへのさらなるCS向上に向けて、社員一丸となって頑張っていきます。



メンテナンス中国(株)
千代田保全センター センター長
小窪 幹男

特集 2 高速道路の お客さま満足を追求します

お客さまに高速道路を安全・快適にご利用いただくことはもとより、さまざまな場面でご満足いただけるようにすることが私たちの目標です。多様化するお客さまや幅広いニーズに対して民間企業として自主的な経営ノウハウを発揮してお応えしていきます。また、より幅広いステークホルダーの皆さまに愛される道路の提供が私たちの使命です。



地域性やお客さまのニーズに応じてサービスエリアの個性化を図っています

快適と感動を与えるエリアをめざします

サービスエリア・パーキングエリアを 「お客様満足施設」に変革します

サービスエリア・パーキングエリアといえば、これまでは画一的で、文字どおり休憩するための場所でした。しかし、本来はお客さまにやすらぎやくつろぎ、楽しさといったサービスを提供する場所のはずです。

例えば、ロングドライブの疲れを癒していただくマッサージチェアを備えたリラクゼーションコーナー、急な体調不良で薬を買いたい、食事を楽しみたい、パソコンをインターネットに接続できる場所が欲しいなど多様なニーズに応え、より快適で便利な店舗へという新しいスタイルを展開しています。

また、地域性やお客さまが求めるものに応じて個性化を推

進んでいます。山陽自動車道三木サービスエリアではドッグランや隣接するカフェのテラス席にリードフックを設け、ドッグランでリフレッシュした愛犬とともにコーヒーなどを楽しみながら、ペットはもちろん、このドッグランを通じて飼い主同士の交流も図られています。

そのほか、新名神高速道路甲南パーキングエリアでは、魅力的な園地を作ろうという思いのもと、地形に起伏を施し、遠景を楽しみお客さま同士が見て、見られて楽しめる変化に富んだ園地としました。休日には子どもたちが元気に駆け回って遊ぶ姿も見られます。

トイレ改良にも力を入れています。洋式便器比率のアップ、床材の工夫や間接照明なども取り入れて快適性向上を図っています。



ペットとともに楽しめるドッグラン施設



景観に配慮し、変化を持たせた園地



山陽自動車道佐波川サービスエリアのトイレ

TOPICS

お客さまにやすらぎ、楽しさ、くつろぎを提供 西日本で初めてのハイウェイホテル 「ファミリーロッジ旅籠屋・壇之浦PA店」がオープン

関門自動車道（下り線）壇之浦パーキングエリアにおいては、2008年4月23日に「ファミリーロッジ旅籠屋」をオープン致しました。このハイウェイホテルは高速道路側だけでなく一般道側からも利用が可能であり、関門海峡を望む絶好のロケーションに比較的低廉な価格でご利用いただけるものです。この施設は、宿泊施設の経営と運営を行う（株）旅籠屋との協働により実現したもので、高速道路利用の途中でそのままご利用いただける上、お一人からご家族のご利用まで幅広く対応できるものになっています。

ハイウェイホテルは観光・レジャー、ビジネスの両面で誰もが気軽に宿泊できることにより、お客さまにやすらぎ、くつろぎの空間を提供し、安全・安心な長距離ドライブを楽しんでいただく施設となります。また、地域の観光振興や活性化にも寄与し、地域の発展にも効果をもたらすものと考えています。

移動の手段であった高速道路が、滞在も可能な拠点を持つことによって総合的なメリットが拡大し、利用方法に幅が出てお客さまへのサービスが向上します。NEXCO西日本グループでは、今後も施設の充実に努めていきます。



関門海峡を望む壇之浦パーキングエリアからの眺望



ハイウェイホテル「ファミリーロッジ旅籠屋・壇之浦PA店」

お客さまへの感謝の気持ちを 商品でも還元

NEXCO西日本グループでは、日ごろより高速道路をご利用いただいているお客さまへ感謝の気持ちを込めて、毎月第一日曜日を「お客様感謝DAY」として、ショッピングコーナー、スナックコーナー、レストランでの商品を2割引でご提供しています。これはNEXCO西日本サービスホールディングスが運営している全サービスエリア・パーキングエリア180カ所で2007年10月から実施しているもので、特にサンデードライブのご家族連れのお買い物やお食事を中心に大変好評をいただいています。

そのほかにも、サービスエリア・パーキングエリアでは地域の特色を生かした土産物の提供などによるサービスの向上を図っています。山陽自動車道龍野西SA(上り)など5カ所では、NEXCO西日本エリアにおける地場産の採れたての農産物を提供する生鮮野菜直売所「やさい村」を展開しています。新鮮な地元の農産物を提供し「地産地消」の提供機会を広げるとともに、地域との連携・発展にも貢献しています。



新鮮な地元の農産物を提供する生鮮野菜直売所「やさい村」



賑わいを見せる「やさい村」(山陽自動車道龍野西SA)



「お客様感謝DAY」で賑わうサービスエリア・パーキングエリア

さまざまなシーンでお客さま満度に努めます

最も身近に接する料金所だからこそ まごころを込めたサービスを

高速道路をご利用いただく際に必ず通る料金所。お客さまと接する機会が最も多いのがこの料金所です。料金の受け渡しというわずかな時間の中で、より満足していただけるサービスを目指して、CSスキルアップや女性収受員の積極的な採用を進めています。

また、各料金所では、花壇の設置や季節感の演出など、お客さまに喜んでいただけるよう独自の工夫を実施しています。



女性収受員

Staff's
Voice

お客さまサービス向上の 取り組みについて

サービス九州(株)は九州地域における料金収受を主たる業務として日々業務にあたっています。料金所のCS活動では、地域観光のPRにつながればとの思いで、伝統民芸品などを社員の手作りで制作しています。



サービス九州(株)人吉料金所
所長
島崎 哲郎

人吉・球磨観光にお見えになったお客さまに、「少しでもお役に立ち、楽しい人吉の旅をしていただければ」と考え、2007年は伝統民芸品「きじ馬」2頭を、2008年は色鮮やかで分かりやすい「観光案内板」を作成し、料金所出口駐車場の一角に設置。お客さまから大変喜ばれ好評をいただいています。

お客さまからお礼のお手紙を頂きました

2008年1月1日、雪が降る中、大分自動車道において故障車救援の指示を受けた大分交通管理隊の河野隊員と荒木隊員が現場に急行。お客さまは、非常駐車帯でチェーンの巻き込みを直すため作業をされていましたが、うまくいかず困っておられました。両隊員が素早い処理で修理を行い、無事運転を再開されました。

このお客さまからは後日、感謝のお手紙をいただきました。そのお手紙には「助けていただきありがとうございます。おかげで無事帰ることができました。お体に気をつけてお仕事頑張って下さい(一部抜粋)」と綴られていました。



パトロール九州(株)大分交通管理隊
河野 和見副班長(写真右)
荒木 貴充隊員(写真左)

特集 **3**

道路ネットワーク整備で地域を支えます

高速道路ネットワークの整備は、沿線地域の活性化にも貢献します。輸送の利便性向上は、さまざまな経済効果をもたらします。2007年度に開通した新名神高速道路の滋賀県域においても、開通前から数多くの企業が沿線に進出するなど、地域の発展に大きく貢献しています。

国民生活をさらに豊かにする道路整備

新名神高速道路の開通で期待される役割

1965年に全線開通した名神高速道路は、わが国の基幹交通を担う大動脈として社会経済活動に大きく貢献してきました。しかし、経済発展に伴う自動車交通の増大により交通混雑が頻繁に発生し、高速性・定時性といった高速道路本来の機能が確保できない状況となっていました。

そうした中、2008年2月に亀山ジャンクション～草津田上インターチェンジ間を結ぶ新名神高速道路が開通しました。これによって、名神高速道路、一般国道1号などの交通渋滞が緩和されるとともに、集中工事、重大事故、自然災害、降雪などの交通障害時に名神高速道路と相互の迂回路としての機能が発揮され、高速道路ネットワークの信頼性が向上します。

渋滞解消や燃費向上によりCO₂排出削減にもつながります

これまで東名・名神高速道路の豊田ジャンクション～草津ジャンクション間においては、年間約1,600回、延べ3,500時間（2006年実績）の渋滞が発生していました。しかし、新名神高速道路の開通により、豊田ジャンクションと草津ジャンクションの外側に起終点を持つ約12,000台/日の約8割が走行ルートを変更しており、名神高速道路の渋滞緩和につながっています。また、距離の面でも名神高速道路に比べ34km短縮されることとなり、年間約1,240万リットルの燃料分のCO₂排出を抑制することに貢献しています。

■新名神高速道路(亀山JCT～草津田上IC)開通前後の名神高速道路渋滞状況の変化



※新名神開通前:2007年3月1日(木)から8月31日(金)までの渋滞回数・渋滞量を記載。新名神開通後:2008年3月1日(土)から8月31日(日)までの渋滞回数・渋滞量を記載。
※データは、名神集中工事期間、東名阪リフレッシュ工事期間を除く
※渋滞量:渋滞の規模を示す指標 (最大渋滞長×[渋滞時間]/2)

観光を支援し産業を活性化させます

京都は国際的にも魅力の大きい観光地であり、周遊観光ツアーが外国人観光客を中心に年々増加していますが、さらに、三重県からの日帰りバスツアーなども、新名神高速道路の開通によって、一般道路から経路転換により時間短縮、立ち寄り先の拡充が図られ、利用者数も増加しています。

長距離高速バスでは、名神高速道路からルート変更した路線が全体の約5割に達するなど、新名神高速道路の利用が増加しています。また、沿線地域の産業面においては、名神高速道路との分岐点にあたる滋賀県で、近年、急速な工場立地が進んでいます。中でも新名神高速道路が通過する甲賀地域では、2007年時点で2002年に比べ立地件数が約3倍に増加するなど、地域経済を活性化させる原動力となっています。



所要時間信頼性から見た高速道路ネットワーク整備

(社)システム科学研究所 会長
京都大学 名誉教授
飯田 恭敬

最近、道路サービス水準の新しい指標として、所要時間信頼性の考え方が取り入れられるようになってきた。所要時間信頼性は、走行移動の安定性を表す指標である。高速道路は高い所要時間信頼性を利用者にサービス提供することが大きな使命である。交通需要は時間帯、曜日、季節などで常に変動するし、また道路容量も災害、事故、工事などで頻りに変化している。この両者の変動が走行遅延の大きな原因である。交通現象の変動に対して高レベルの所要時間信頼性を実現するには、代替経路が選択可能な道路ネットワークの整備が不可欠である。関西圏の高速道路ネットワーク形状は、この観点からみて整備が未成熟であり、早期のミッシングリンクの完成が望まれる。

お客さまからの声

新名神高速道路(亀山JCT～草津田上IC)の開通について

当社は和ハウスグループの物流会社として、住宅・建設部材などを扱う物流業務を展開しています。このたび開通した新名神高速道路は、近畿地区への大動脈として、戦略上大きなメリットであり、代替ルートの確保や渋滞緩和などによる輸送時間の短縮、燃料費の節約、CO₂排出削減につながっており、物流効率化により顧客企業への貢献にも大いに役立っています。

大和物流(株) 取締役 **羽藤 真弘 様**
〔※(社)日本ロジスティクスシステム協会 会員企業〕

当社はアルミの特性を生かした機械装置や構造物、建築などによるFA(ファクトリーオートメーション)事業を展開しており、高速道路のサービスエリア・パーキングエリア内にもアルミ製「喫煙ブース」を設置しています。2008年春の新名神高速道路開通に合わせ滋賀県に製造拠点を新設しましたが、2009年春には、甲南インターチェンジも開通し、お客さまや各拠点との距離がいっそう縮まると期待しています。

SUS(株) 滋賀事業所 所長代理 **阿部 和彦 様**

当社は液晶テレビ用の輝度上昇(光学)フィルムを製造・加工しており、滋賀県甲賀市の工業団地に2005年春進出しました。米国から輸入した原材料は、名古屋港で通関し、新名神高速道路を利用し輸送することで納期の短縮・輸送コストの低減などを実現。また、お客さまへの納入においても定時性・安定性・安全性確保に大きく貢献しています。

関西スリーエム(株) 総務部 部長 **市側 祐司 様**

当社工場は、好立地を生かし中部・関西を商圏とした住宅用木材の購入、プレカット加工、建築現場への配送を行っています。資材や製品のデリバリーは、コストの面から一般道を使用しますが、一部高速道路へ車両が流れたことで、一般道の渋滞が緩和され、助かっています。建設が進む甲南インターチェンジが開通すれば、さらに利便性が向上すると期待しています。

ボラテック(株) 滋賀工場ロハスフィールド 工場長 **中根 慎治 様**

※(社)日本ロジスティクスシステム協会:わが国唯一のロジスティクス専門団体。ロジスティクスとは、物流を効率的に管理するシステムのこと。

特集 4



第二神明道路明石西インターチェンジ

【高速道路料金の仕組み】 多様な料金割引を展開します

高速道路をご利用いただく対価としてお客さまからお預かりする「料金」。公共料金であることから、その水準については関係法令に基づき、「償還主義の原則」と「公正妥当主義の原則」によって決められています。民営化後もこのルールは基本的に変わりませんが、多様な料金割引によりお客さまに喜んでいただけるよう取り組んでいます。

さらに利用しやすい料金制度を目指して

NEXCO西日本では民営化以降、お客さま満足度を高め、地域の発展に寄与するため、新たな料金割引に取り組んでいます。

例えば、地域の皆さまのご協力により早期に開通が可能となった場合、地域への還元を目的とした早期開通割引（期間限定）、また、お客さまがお得に快適に高速道路のドライブ旅行をお楽しみいただけるよう、旅行会社とタイアップした周遊割引（地域・期間限定など）があります。

また、2008年10月からは国の緊急総合対策の一環として、深夜の5割引、休日昼間の5割引など国民生活や地域経済を支援する観点から割引を展開しています。さらに、民営化以前

から実施している「長距離通減割引」「障がい者割引」「路線バス割引」などがあります。

各種割引のご案内は
NEXCO西日本および下記ホームページ
またはSA・PAのチラシをご覧ください。

- <http://www.tokutoku-etc.jp/>
- <http://www.jikken-etc.jp/>
- <http://www.jtb.co.jp/kokunai/etc/>

民営化後に導入したさらなる多様な弾力的な料金割引

早期開通割引の事例
(これまでに3カ所実施)



周遊割引の事例
(中国・四国・九州など各地域で展開)



「安心実現のための緊急総合対策」における高速道路料金引下げ

原油価格高騰への対応に重点化し、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」に基づく緊急的施策

- 「物流の効率化」を目的として 平日深夜、夜間割引の拡充
- 「地域の活性化(観光振興)」を目的として 休日昼間割引の導入

2008年
10月14日
割引開始

高速道路料金決定の原則

高速道路の料金は、道路資産の貸付料および高速道路の維持、修繕その他管理に要する費用を料金の徴収期間内に償うものであること(償還主義)、また高速道路の効率的な利用が図れるよう公正妥当なものであること(公正妥当主義)、この2つの考え方により決定されています。料金の徴収期間は法令により45年以内と定められており、お客さまからいただく料金は高速道路機構を通じて高速道路の債務返済にあてられています。

現在行っている各種割引

2008年11月30日現在

- 長距離通減割引
長距離利用の促進目的
100~200km間での部分を25%割引、200kmを超える部分を30%割引
- 障がい者割引
障がい者の方の自立と社会経済活動の支援
50%以下の割引
- ETC関連
■ETC時間帯割引
(通勤割引、早朝夜間割引、深夜割引)
下表のとおり
- 路線バス割引
高速道路の公共交通システム充実による沿線地域の方々へのサービス向上
高速バスストップを約80%以上停車する路線バス30%割引
- マイレージ割引
一般利用のお客さまに幅広く還元
- 大口・多頻度割引
高速道路の利用促進および大口利用のお客さまの定着を図る

※なお、国の「追加経済対策」の「高速道路料金引下げ」については現在検討中です。

■各種割引の概要

2008年11月30日現在

	ETC時間帯割引	料金社会実験	企画割引	利便増進計画に基づく割引
目的	高速道路の利用促進や有効利用を図るもの	地域が抱えている課題などを解決するために、実験的に料金割引を行い、その効果などを把握するもの	お客さまへの料金サービスの向上、地域の活性化を図るもの	既存の高速道路ネットワークの有効活用や機能強化の推進を図るもの(「安心実現のための緊急総合対策」を実施しています)
費用負担	—	国や地方	高速道路会社	国
割引内容	<p>【通勤割引】 時間帯 6~9時、17~20時 割引率 50% 距離 100km 回数 各時間帯に1回まで ※大都市近郊区間は対象外</p> <p>【早朝夜間割引】 時間帯 22~翌6時 割引率 50% 距離 100km ※大都市近郊区間が対象</p> <p>【深夜割引】 時間帯 0~翌4時 割引率 30%</p>	<p>【平日昼間割引】 ●山陽自動車道(西条IC~大竹IC) など</p> <p>【平日夕方割引】 ●阪和自動車道(貝塚IC~有田IC) など</p> <p>【深夜割引拡充】 ●東名高速道路、名神高速道路、東名阪自動車道の一部 など</p>	<p>【早朝開通割引】 ●阪和自動車道 みなべIC~南紀田辺IC間 ●新名神高速道路 亀山JCT~草津田上IC間 ●東九州自動車道 津久見IC~佐伯IC間</p> <p>【周遊割引】 ●ぶらり中国道・米子道 秋の週末フリーバス ●南へGO!ETC周遊フリーバスin南九州 ●四国周遊往復割引 など ※一部の割引はすでに終了しています。</p>	<p>【平日夜間割引】 時間帯 22~24時 割引率 30%</p> <p>【平日深夜割引】 時間帯 0~翌4時 割引率 50%</p> <p>【休日昼間割引】 時間帯 9~17時 割引率 50% 距離 100km 回数 1日に2回まで ※大都市近郊区間は対象外 など</p>

※各種割引についてはその他諸条件がございます。詳しくはこちらのホームページからご確認ください。http://www.w-nexco.co.jp/

特集 5

公正で透明な事業執行を推進します



入札監視事務局の会合状況

かつて、私たちの前身である旧日本道路公団は、談合事件によって国民の信頼を損ねました。信頼回復には調達や契約において公正で透明性が高い対応を地道に行うしかありません。私たちは社外の意見を積極的に取り入れ、より幅広い観点で、最適な調達手段や契約方式を実現するため努力を続けています。

さまざまな契約制度改善の取り組み

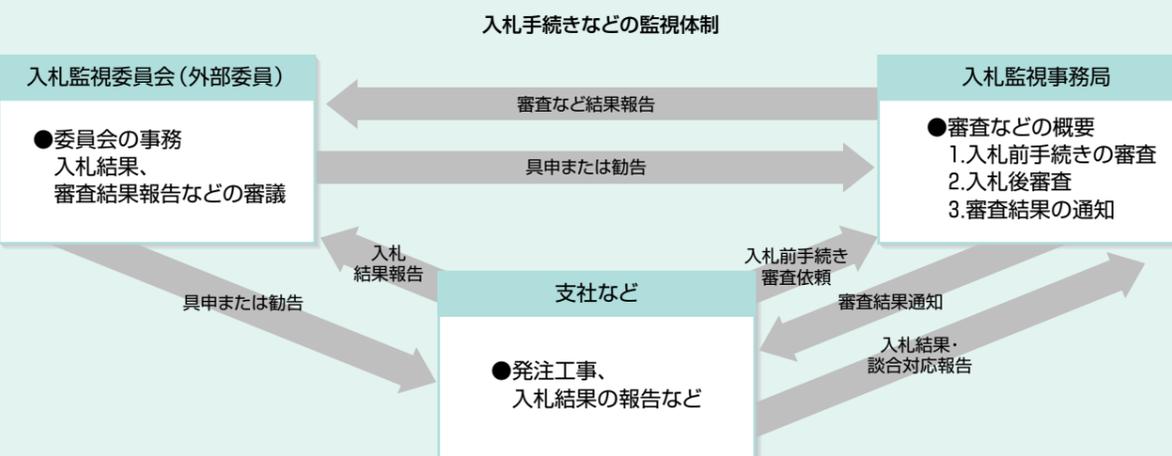
社会からの信頼を得るためには まず社員意識の浸透から

高速道路事業は、非常に公共性の高いものですが、NEXCO西日本の前身である旧日本道路公団時代に橋梁の鋼橋上部工工事の発注に複数の役員および職員がかかわる「橋梁談合事件」が発生し、国民の信頼を大きく損なうことになりました。失った信頼を回復するためには、談合などのあらゆる不正行為は絶対に許さないという強い信念のもと、透明で健全な経営を積み重ねていくしかありません。そのためにも、まず社員一人ひとりが高い理念と規範に基づき行動することが基本であると考え、すべての役員および社員がさまざまな局面において実践すべき指針として「NEXCO西日本グループ行動憲章」を制定し、全社員へ冊子にして配布しています。

公正で透明性の 高い契約手続き

より公正で透明性の高い契約事務の実施に向け、技術的難易度に応じた施工実績など一定の条件を満たせば誰でも入札に参加できる「一般競争入札」を全面的に実施し、広く門戸を開いています。

また、「公共工事の入札および契約の適正化に関する法律」に基づき、契約に関する規定や個別契約案件の結果・経緯に関する記録を公表するとともに、年度ごとの契約結果についての資料や調査などの契約情報についても、自主的に公表することで透明性の向上に努めています。



「入札監視委員会」による 監視機能の強化

入札および契約の過程ならびに契約内容の透明性を確保するため、各支社に弁護士、大学教授などの外部有識者からなる「入札監視委員会」を設置しています。支社などが行った工事、調査などの契約について年2回審議されており、2008年度からは工事、調査などに加え、物品・役務も審議の対象としました。

なお、審議内容については、ステークホルダーの皆さまにもご覧いただけるように、ホームページ内の「調達・お取引」のページで開示を行い、透明性の向上に努めています。

さらに、本社に事業部門から独立した「入札監視事務局」を設置し、工事の発注単位の決定方法および競争入札とする場合に設定する参加要件などについての事前審査・事後審査や、契約に関するデータの収集・分析を行っています。「入札監視事務局」のスタッフは、毎回「入札監視委員会」に出席し、入札・契約手続きの結果の報告などを行っています。

NEXCO西日本ホームページでご覧いただけます。

調達・お取引
<http://corp.w-nexco.co.jp/procurement/>
 入札監視委員会審議概要
<http://corp.w-nexco.co.jp/procurement/order/discussion/>



「工事契約価格適正化制度」の運用

「工事契約価格適正化制度」とは、工事の品質確保、安全対策の徹底および工事下請けへの不当なしわ寄せの排除を目的に、さらには健全な工事執行体制の構築と高速道路の建設・維持管理業務全般の技術力の維持向上を図るために、2007年4月からNEXCO西日本が独自に導入した制度です。

この制度は、最低価格提示者の入札価格が適正基準価格以下となった場合、入札価格で工事の適正な履行が可能かどうかを審査し、明確な立証をできなければ、当該入札参加者を無効とするものです。

入札監視委員会からの主な意見 (2007年度)

- 調査などの業務についてプロポーザル方式を採用する場合、技術提案資料を評価する際その内容が僅差であるときは、価格競争させる方法を検討する必要がある。
- 低価格入札工事について、非常に細心に責任を持って遂行するように監視体制をとっていることは評価できる。
- 総合評価落札方式における技術評価については、競争参加者間に不公平を生じさせない簡素化された客観性の高い方式となるよう検討されたい。